

ミニギャラリー

今月の題字



熊野高校2年生  
小川 絢子さん

町の人口と世帯数

平成19年1月31日  
(前年同月比較)

人口	25,855人	(-122)
男	12,575人	(- 55)
女	13,280人	(- 67)
世帯数	10,139世帯	(+ 85)

熊野高校 3年 田川 智大  
題名「HUNDRED FACE」



【評】 50号のキャンバスに弾けるような色彩で100人の顔を表現しています。文字のレイアウト構図のおもしろさ、一人ひとりの顔を見ていると楽しくなってくる作品です。

熊野高校 3年 中川 さやか  
「中山王璽方壺」



【評】 中国戦国時代の銅器に刻されていた味を表現するために、剛毛の先の利く筆で、切れ味のよい線を出しています。曲線も美しく、華麗で爽やかな隸書作品です。

熊野の自然 (210)

フキ

(キク科)



フキノトウが春の訪れを告げています。多数の苞葉に包まれた蕾の集合体です。キク科では珍しく、雌株と雄株があります。雌花は白色、雄花は黄白色です。咲き終わると、雄花は枯れてしましますが、雌花は花茎が30〜45cmにも伸びます。熟すると白い綿毛のついた種子が、風に乗って飛んでいきます。

本州、四国、九州に分布する多年草です。流れの近くのやや湿った所を好みます。畑のそばにあるのは栽培されて広がったのでしよう。太い地下茎を横に伸ばし枝を分けて繁殖します。

葉は普通、花が終わって出てきます。大きくなると直径15〜30cm位です。よく知られる山菜で、特有のほろ苦さは、消化を助け食欲を増進します。咳止め、痰切りの効果があるそうです。フキノトウはフキうです。フキノトウはフキ味噌、汁の実、天ぷらに、葉柄は煮物、キャラブキ、砂糖漬けに、葉は佃煮にと余す所なく使えます。

古くから栽培される、数少ない日本原産の野菜です。店で売られているのは、アキタブキの栽培品で、愛知早生が有名です。アキタブキは、本州北部から北海道などに自生し、葉柄は2m、葉は直径1.5mにもなります。語源は、大きな葉を物を拭くのに使ったので「拭き」とも言われます。「蒔」の字は、路傍の草の意味です。

【写真・文】  
緑花文化士 富沢由美子



筆匠古城園

広島筆産業株式会社

〒731-4214 広島県安芸郡熊野町3548番地の5  
電話：082-854-1145 FAX：082-854-1146  
URL：//www.artbrush-hiroshima.com

広告

広報「くまの」・熊野町ホームページ 広告

広告掲載募集！！

広告掲載料金には、割引があります。  
(但し、1回の申込で3月分以上の申込が条件。)

月数	割引率
3月以上6月未満	5%
6月以上9月未満	10%
9月以上12月未満	20%
12月	30%

詳しくは、企画課情報推進係 TEL820-5602

「熊野町の火災と救急」についてはP21の欄外へ掲載しています。



「広報くまの」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。